

# 酮基布洛芬引起斑丘疹状药疹 1 例

成玉荣 朱 砂 (浙江省宁波市第一医院, 宁波 315010)

患者钱××, 男, 24 a, 因偏头痛于 1992 年 9 月 28 日 11 时 20 分服用酮基布洛芬胶囊一粒 50 mg (温州制药厂生产, 批号 920302) 和正天丸一包 (深圳南方制药厂生产)。于当日 12 时许患者感觉面部奇痒、眼周紧张, 再诊。检查: 面部及颈部可见六、七处大小不等斑丘疹, 最大可达  $2 \times 1.5$  cm。最小仅  $0.5 \times 0.5$  cm, 淡粉红色, 瘙痒, 双眼睑轻度

水肿, 余无殊。遂诊为药疹, 停用酮基布洛芬及正天丸, 给予地塞米松 0.75 mg, 一日三次, 扑尔敏 8 mg, 一日三次, 连用三日。两天后皮疹消退, 正常如初。四天后因“偏头痛”症状仍存, 再服正天丸, 密切随访 5 日, 未见皮疹再现。故此, 该皮疹为酮基布洛芬引起, 无疑当诊为酮基布洛芬药疹。

收稿日期: 1995—01—23